

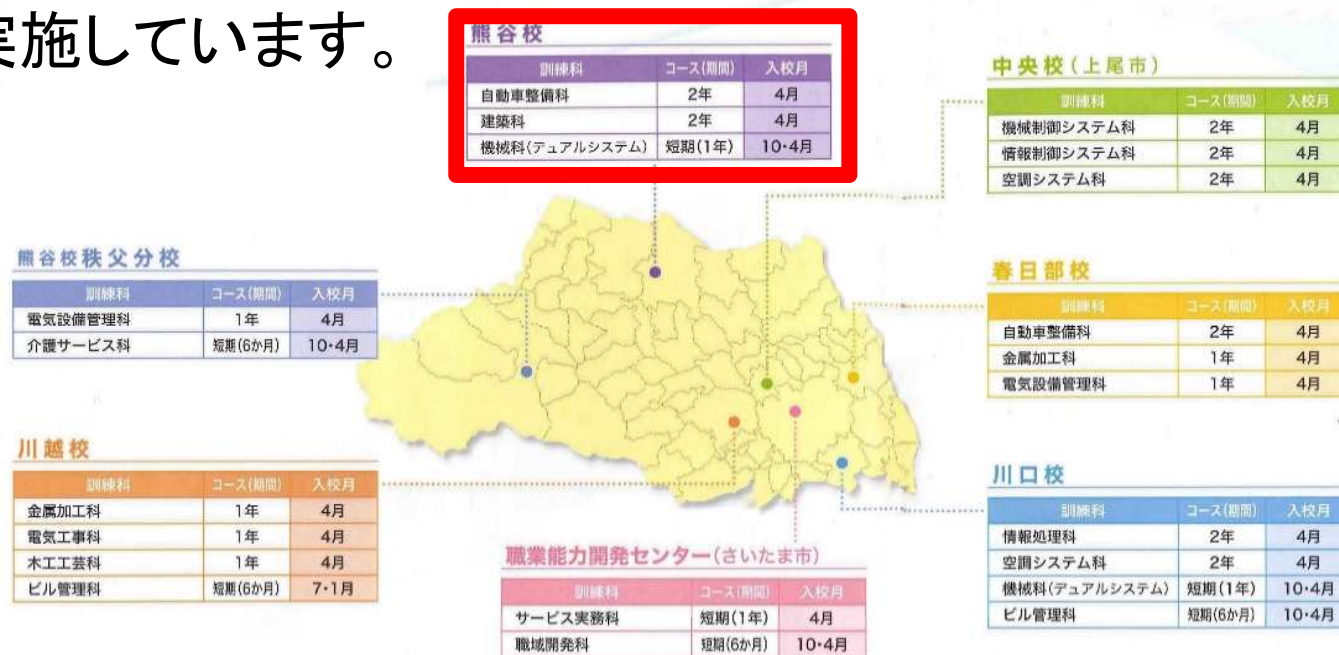
# 埼玉県立熊谷高等技術専門校



オープンキャンパス資料

# 高等技術専門校とは

- ◆職業能力開発促進法に基づき、県が設置している職業能力開発施設です。
- ◆求職者や在職者の方を対象に、就職や仕事のスキルアップに必要な知識・技能を習得するハートレーニング（職業訓練）を実施しています。



# 熊谷高等技術専門校設置科

## ◆設置科

2年コース 4月入校(概ね30歳までの方)

◇自動車整備科

定員:25人

応募条件:高等学校卒業(見込含む)以上の方

◇建築科

定員:20人

1年コース 4月・10月入校(概ね55歳までの方)

◇機械科(デュアルシステム)

定員:各10人



# 自動車整備科紹介

## ◆内容

◇自動車整備士として必要な知識、技能を学科・実技を通して基礎から学びます。

◇国家二級自動車整備士(ガソリン及びジーゼル)の受験資格を得て就職を目指します。

(当校は、国土交通省認定の一種自動車整備士養成施設です。修了することで国家二級自動車整備士の実技免除となり学科試験のみで資格が取得できます。)





# 自動車整備科紹介

## ◇1年次

自動車の構造及び原理を理解  
各装置の分解・整備  
基礎的な整備方法を習得

## Point

少人数制だからできる  
繰り返し作業で、確実に  
技術を身につけます。



【エンジンオーバーホール】



【測定作業】

# 自動車整備科紹介

- ◇2年次
- 応用的な整備作業を習得
- オートマチックトランスミッション
- パワーステアリング
- 電子制御装置
- EV、HV整備作業



【電気自動車整備】

## Point

最新技術、各種故障探求  
など幅広く習得



【エアコン整備】

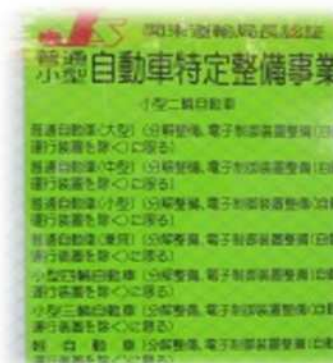
# 自動車整備科紹介

## ◇応用実習

ナンバー付きのお客様の自動車  
で定期点検、車検整備を実施、車検  
場で受検することで実践的な技術  
身につけます。

Point

就職後の  
即戦力を  
目指す。



自動車整備科実習場：国土交通省関東運輸局認証工場



【車検実習】



【ヘッドライト光軸調整】



# 建築科紹介

## ◆内容

◇建築大工に必要な道具の取扱いから、加工・組立まで、木造建築技術の知識と技能の基礎を身につけます。

◇環境対応住宅やリフォーム技術など、安全で健康に暮らせる住宅づくりについて学びます。





# 建築科紹介

## ◇1年次

- ・刃物(のみ、かんな)の研ぎ
- ・木材接合部の加工(継ぎ手、仕口)  
接合部の加工を通して、手工具(墨付け具、のみ、かんな、のこぎり等)の取り扱いについて習得します。
- ・住宅の一部を製作(部分工作)  
図面作成(Jw\_cad)及び住宅の構造・加工・納まりについて習得します。

### Point

繰り返しの工作で  
技能を習得します。



【手工具】



【仕口加工】



【部分工作】

# 建築科紹介

◇2年次

・インターンシップ

10日間、実際の建築現場で仕事を体験します。

・第二種電気工事士

・木造2階建て住宅の製作

設計・図面作成 → 積算 → 墨付け・加工 → 建て方  
→ 電気工事 → 造作(内部仕上げ工事)

Point

住宅建築を  
体系的に  
学べます。



【インターンシップ】



【CAD操作】



【木造2階建て住宅施工】

# 機械科デュアルシステム紹介

## ★内容

☆自動車、航空機、鉄道、船舶、医療、建築など様々な分野に係る部品の加工技術を習得します。

☆専門校での訓練と企業での実習を組み合わせた「デュアルシステム」を採用、より実践的で効果的なハロートレーニングを実施します。 ※企業実習は、有給就労となります。

入校から8か月間		その後4か月間
専門校で機械加工の基礎技能を習得します。		企業で実践的な加工技術を習得します。(月～木曜日) 金曜日は、専門校で振り返りの訓練を実施します。
4月生	4月～11月	12月～3月
10月生	10月～5月	6月～9月

## Point

就職に直結！  
実習先企業に就職





# 機械科デュアルシステム紹介

## ・汎用旋盤作業

機械を手動操作し、円筒形の部品を作る機械です。  
段・溝・テーパ加工、ネジ加工などを習得します。

Point

充実した機械  
整備と経験豊富  
なスタッフが技能  
習得をサポート

## ・フライス盤作業

機械を手動操作し、箱型の部品を作る機械です。  
段・溝加工などを習得します。



【汎用旋盤作業】



【フライス盤作業】

# 機械科デュアルシステム紹介

- ・NC旋盤作業

汎用旋盤の仕事を、コンピュータ制御で作る機械  
汎用旋盤の知識をベースにプログラムを作成し加工する

Point

作りながら実践で学ぶ！

- ・マシニングセンター作業

汎用フライス盤の仕事を、コンピュータ制御で作る機械  
フライス盤の知識をベースにプログラムを作成し加工する。



【NC旋盤作業】



【マシニングセンタ作業】



# 熊谷高等技術専門校 ここが売り！

## ◆就職支援の充実

過去3年間 全科就職率100%

## ◆クラス定員少人数制(定員10~25人) Point

学べる機会が増える

繰り返し練習できる・質問できる

だから

知識・技能が見につく

## ◆負担の少ない授業料

※専門学校年間平均125万円

実習費  
設備費

授業料

入学金



授業料

2年コース 118,800円/年  
9,900円/月

皆さんの負担

※機械科は無料



# 熊谷高等技術専門学校 ここが売り！

## ◆実技重視のカリキュラム

学科1:実技2

## ◆企業と連携したインターンシップ

自動車整備科 1年次の1月に5日間実施

建築科 2年次の6月に10日間実施

機械科 入校後9か月目から4か月間(有給雇用)

## ◆資格合格率、全国平均以上 ※( )は全国平均合格率

自動車整備科	2級ガソリン自動車整備士	100%	(81.6%)
	2級ディーゼル自動車整備士	92.3%	(91.5%)
建築科	2級技能検定実技(建築大工)	84.6%	(52.3%)
	3級技能検定実技(建築大工)	100%	(72.3%)
機械科	2級技能検定実技(普通旋盤)	100%	(59.5%)
	3級技能検定実技(普通旋盤)	100%	(69.7%)

# 就職支援

- ◇応募書類作成・面接対策支援
- ◇企業説明会、無料職業紹介業務の実施
- ◇キャリアカウンセラー、臨床心理士によるサポート

科名	主な就職先企業(令和5年度)
自動車整備科	北関東TCM(株)、(株)昭通、(株)スズキ自販西埼玉、東京海上日動調査サービス(株)、トヨタカローラ埼玉(株)、日産プリンス埼玉販売(株)、ネットヨタ埼玉(株)、(株)ホンダニュー埼玉、(株)ホンダカーズ埼玉北、南関東日野自動車(株)、UDトラックス(株)
建築科	旭化成住宅建設(株)、(株)國分工務店、住協建設(株)、(株)SUHARA建匠、一建設(株)、(株)モリオカ装工、和田工務店
機械科 デュアルシステム	オグラ宝石精機工業(株)、(株)木村精機製作所、(株)協和テクニカ、ポーライト(株)、(株)牧野フライス製作所

# 授業料

◆通常、年間の授業料は2回に分けて納入いただきます。

5月:59,400円

10月:59,400円

◇分納制度

申請により1か月ごと、2か月ごとなどの納入も可能です。

◇減免制度(対象者のみ)

申請により減免(全額、2/3、半額、1/3、1/4のいずれか)が受けられます。

〈減免となる例〉

- ①生活保護の受給世帯、
- ②児童扶養手当の受給世帯、
- ③市町村民税の非課税世帯または所得割額が一定額の世帯



# 自己負担額

教科書代、工具代及び資格試験等の受験料などは自己負担となります。（円）

	教科書・ 工具等	資格試験・ 施設見学料等	職業訓練生 総合保険料	合計
自動車整備科	148,000	32,900	15,850	196,750
建築科	76,900	48,800	15,850	141,550
機械科	23,000	19,500	7,950	50,450

- ※ 費用は概算値のため、若干変動することがあります。
- ※ 自動車整備科、建築科は2年間の経費、機械科は1年間の経費です。
- ※ この他、昼食代や交通費(学割)が掛かります。

# 1日の流れ

午前中は学科(2限～4限)を行い、その後、実技を実施  
実技中心のカリキュラム(学科1:実技2)

時 限	時 刻	時間(分)	休憩(分)
朝 礼	8:40 ~ 8:45	5	
1時限	8:45 ~ 9:30	45	5
2時限	9:35 ~ 10:20	45	5
3時限	10:25 ~ 11:10	45	5
4時限	11:15 ~ 12:00	45	5
休 憩	12:00 ~ 13:00	60	
5・6時限	13:00 ~ 14:30	90	10
7・8時限	14:40 ~ 16:10	90	
終 礼	16:10 ~ 16:15	5	

# 休日

- 1 土曜日・日曜日・国民の休日  
※年数回オープンキャンパス等で土曜日実施あり
- 2 開校記念日
- 3 夏季休業 7月25日～8月20日
- 4 冬期休業 令和6年度 12月24日～1月 8日
- 5 春季休業 3月20日～4月 7日

# レクリエーション

バーベキューなど実施

※令和6年度 森林公園でバーベキュー等親睦会実施





# 入校試験(2年コース)

## ◆募集日程

### 募集日程・応募方法 **2年コース**・**1年コース**

2年・1年コースは、「推薦選考」と「一般選考」があります。

推薦選考に不合格となった場合でも、一般選考への出願が可能です。なお、自動車整備科は推薦選考を実施しません。

また、1年コースの一般選考には就職氷河期世代の入校優先枠があります。(1次募集のみ)

優先枠は各科とも定員の1割です。対象者は応募方法欄をご参照ください。

## 募集日程

選考は応募先の高等技術専門校で、午前9時から実施します。

なお、集合時間や持参物などの詳細については応募先の高等技術専門校にご確認ください。

区分	受付期間	選考日	合格発表日	入校日	
推薦選考	10月 1日(火)～10月 9日(水)	10月17日(木)	10月23日(水)	令和7年 4月8日(火)	
一般選考	1次募集	10月 1日(火)～11月 1日(金)	11月 8日(金)		11月15日(金)
	2次募集*	11月18日(月)～12月 5日(木)	12月12日(木)		12月18日(水)
	3次募集*	令和7年1月9日(木)～1月28日(火)	2月 6日(木)		2月14日(金)

\*2次募集以降については、直前の募集で定員に満たなかった訓練科で実施します。

# 入校試験(2年コース)

## ◆応募方法

	推薦選考 定員は各訓練科とも、募集定員の概ね5割以内	一般選考
対象者	以下の①～③の <b>全て</b> に該当する方 ①高等学校を令和6年度に卒業見込みであること。 ②学習成績概評がC段階(5段階中3.4～2.7)以上であり、かつ、出席状況が良好であること。 ③高等技術専門学校への入校意志が強く、進路希望先の第1位としていること。	<b>【2年コース】概ね30歳までの方</b> (ただし、自動車整備科は高等学校卒業(見込み)以上) <b>【1年コース】年齢不問</b> (就職氷河期世代優先枠は、以下の①から③の <b>全て</b> に該当する方) ①1970(昭和45)年4月2日から1985(昭和60)年4月1日までに生まれた方 ②過去1年以内に正規雇用労働者として雇用されたことがない方 ③正規雇用の就労希望者
願書等の提出方法	<b>【中学校、高等学校、短期大学、大学等を卒業見込みの方】</b> 以下のいずれかを選択できます。 ①入校を希望する高等技術専門校の窓口に入校願書を「持参*1」 ②「インターネットでの申込み*2」 ※「インターネットでの申込み」の場合は、提出書類の「①入校願書」は不要です。 ※ <b>入校試験手数料2,200円</b> を、選考日の前日午後2時までにお支払いください。 「持参」の場合は、高等技術専門校の窓口にある端末でキャッシュレス決済(クレジットカード、デビットカード、電子マネー、コード決済)、「インターネットでの申込み」の場合は電子収納(クレジットカード又はペイジー)によりお支払いください。	<b>【中学校、高等学校、短期大学、大学等を卒業見込みの方以外】</b> 住所地を管轄するハローワーク(公共職業安定所)でご相談の上、「入校願書」に受付印を押印してもらい、入校を希望する高等技術専門校の窓口「持参*1」又は「インターネットでの申込み*2」 ※「インターネットでの申込み」の場合は、 <b>入校願書の原本</b> を選考日まで窓口「持参」又は「郵送(簡易書留)」してください。 (選考日の持参も可)
<p>・提出された入校願書等は、受験の有無及び合否にかかわらず返却いたしません。</p> <p>*1「持参」する場合は、受付が午前8時30分から午後5時15分までです。(土・日曜日、祝日を除く)</p> <p>*2「インターネットでの申込み」は、P.31の入校を希望する高等技術専門校のホームページ等でご確認ください。</p>		



# 入校試験(2年コース)

## ◆応募方法

提出書類	<p>①入校願書【推薦・一般共通】  <b>写真2枚</b>を貼付欄に貼り付けてください。          ※入校願書は、P.29～30を切り取り使用してください。県産業人材育成課のホームページからもダウンロードできます。また、高等技術専門校、職業能力開発センター、県産業人材育成課でも配布しています。</p>	
	<p>②調査書(進学用)【推薦のみ】          ※「インターネットでの申込み」の場合は、<u>開封せずに</u>原本を窓口に「持参」又は「郵送(簡易書留)」で受付期間内に必着とします。</p>	<p>②高等学校以上の卒業証明書又は卒業見込証明書【自動車整備科に応募される方のみ】          ※「インターネットでの申込み」の場合は、<u>原本</u>を選考日までに窓口に「持参」又は「郵送(簡易書留)」してください。(選考日の持参も可)</p>
<p>選考方法          ※合否は入校願書の内容も含め総合的に判断します。</p>	<p>作文試験及び面接試験【推薦】</p>	<p>筆記試験(高等学校卒業程度の国語と数学)及び面接試験【一般】          ※過去の筆記試験問題は、県産業人材育成課のホームページでご覧いただけます。</p>
合格発表	<p>①受験者に郵送で結果を通知          ②受験した高等技術専門校のホームページに掲載</p>	



# 入校試験(機械科)

## ◆募集日程

### 機械科(デュアルシステム)

入校月		受付期間	選考日	合格発表日	入校日
10月入校	1次募集	6月14日(金)～7月5日(金)	7月11日(木)	7月18日(木)	10月3日(木)
	2次募集*	7月19日(金)～8月8日(木)	8月20日(火)	8月23日(金)	
令和7年 4月入校	1次募集	11月18日(月)～12月5日(木)	12月12日(木)	12月18日(水)	令和7年 4月8日(火)
	2次募集*	令和7年1月9日(木)～1月28日(火)	2月4日(火)	2月12日(水)	

\*2次募集以降については、直前の募集で定員に満たなかった訓練科で実施します。

# 入校試験(機械科)

## ◆応募方法

対象者	機械科(デュアルシステム)	概ね55歳未満の方	就職氷河期世代優先枠は、以下の①から③の <b>全て</b> に該当する方 ①1970(昭和45)年4月2日から1985(昭和60)年4月1日までに生まれた方 ②過去1年以内に正規雇用労働者として雇用されたことがない方 ③正規雇用の就労希望者
	ビル管理科・介護サービス科	年齢不問	
願書等の提出方法	<p>①【中学校、高等学校、短期大学、大学等を卒業見込みの方】 入校を希望する高等技術専門校の窓口「持参<sup>*1</sup>」、「郵送<sup>*2</sup>」又は「インターネットでの申込み<sup>*3</sup>」 ※①対象の方で「インターネットでの申込み」の場合は、提出書類の入校願書が不要となります。</p> <p>②【①以外の方】 住所地を管轄するハローワーク(公共職業安定所)でご相談の上、「入校願書」に受付印を押印してもらい、入校を希望する高等技術専門校の窓口「持参<sup>*1</sup>」、「郵送<sup>*2</sup>」又は「インターネットでの申込み<sup>*3</sup>」 ※②対象の方で「インターネットでの申込み」の場合は、入校願書の原本を窓口「持参」又は「郵送(簡易書留)」で選考日までに必着とします。</p> <p>・機械科(デュアルシステム)を受験される方は、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを受けてください。ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングは、各ハローワークで実施しています。 ・提出された入校願書等は、受験の有無及び可否にかかわらず返却いたしません。</p> <p>*1 「持参」する場合は、受付が午前8時30分から午後5時15分までです。(土・日曜日、祝日を除く) *2 「郵送」する場合は、簡易書留で受付期間内に必着とします。 *3 「インターネットでの申込み」は、P.31の入校を希望する高等技術専門校のホームページ等でご確認ください。</p>		

# 入校試験(機械科)

## ◆応募方法

提出書類	入校願書 写真2枚を貼付欄に貼り付けてください。 ※入校願書は、P.29～30を切り取り使用してください。 県産業人材育成課のホームページからもダウンロードできます。また、高等技術専門校、職業能力開発センター、 県産業人材育成課でも配布しています。	
選考方法	機械科(デュアルシステム)	筆記試験(四則計算など)、作文試験及び面接試験
	ビル管理科	筆記試験(中学校卒業程度の国語と数学)及び面接試験
	介護サービス科	面接試験
	合否は入校願書の内容も含め総合的に判断します。 ※過去の筆記試験問題は、県産業人材育成課のホームページでご覧いただけます。	
合格発表	①受験者に郵送で結果を通知 ②受験した高等技術専門校のホームページに掲載	



# 入校試験

## ◆入校願書

「埼玉県立高等技術専門校  
令和6年度入校案内」  
P29、30にあります。  
切り取ってご利用ください。

また、当校ホームページからも  
印刷、ダウンロードできます。

埼玉県立高等技術専門校

令和6年度  
入校案内

高い資格取得率

身に付く技術、活かせる仕事

技能五輪  
全国大会に  
毎年出場!

ホームページから  
ダウンロードできます。

彩の国  
埼玉県

# 入校試験

## ◇入校願書

- 必要事項を記入して写真を2か所に貼ってください  
写真サイズ:縦4cm×横3cm

様式第1号(第7条関係)

## 入校願書

受付印		(宛先) 埼玉県立 高等技術専門校長 埼玉県立職業能力開発センター所長 入校したいので、出願します。		出願日 年 月 日	※受験番号
受験科名	科	出願区分 ※□にレ印	<input type="checkbox"/> 推薦選考 <input type="checkbox"/> 一般選考 <input type="checkbox"/> 就職氷河期世代優先枠	写真 3か月以内に撮影した正面顔無装束上半身の写真(縦4cm×横3cm)裏面に氏名を記入を貼り付けてください。	
ふりがな	氏名	生年月日	年 月 日生(高 歳)		
現住所	〒 都道府県 ( ) 電話番号	緊急連絡先 氏名 住所 〒 連絡先 電話番号 ( )	最終学歴 大学・短大 高校・中学 ( )	学部 課程	科
職歴	会社名等	従事していた職務の内容	雇用形態	在職期間	
				年 月～ 年 月	
				年 月～ 年 月	
				年 月～ 年 月	
資格免許等	取得年月	資格・免許の名称	取得年月	資格・免許の名称	
志望動機					
※ 取扱い公共職業安定所名					
※ 雇用保険受給資格者					
		1 なし	2 あり	A 受講指示対象	B 受講指示対象外

### 写真票

※ 受験番号 \_\_\_\_\_  
 受験科名 \_\_\_\_\_  
 氏名 \_\_\_\_\_  
 写真  
 3か月以内に撮影した正面顔無装束上半身の写真(縦4cm×横3cm)裏面に氏名を記入を貼り付けてください。

### 受験票

※ 受験番号 \_\_\_\_\_  
 受験科名 \_\_\_\_\_  
 氏名 \_\_\_\_\_  
 選考会場 応募先高等技術専門校(裏面参照)  
 ※選考日時 筆記 月 日 ( ) 時 分集合  
 面接 月 日 ( ) 時 分集合  
 持参するもの  
 受験票、筆記用具、昼食  
 円切手1枚(試験結果通知の郵送に使用します。)  
 (注意) 川口産業技術専門校及び川越高等技術専門校については上履きを持参してください。  
 提出された入校願書は返却いたしません。



# 入校試験

## ◇入校試験手数料2,200円の支払い方法について

〈願書を持参する場合〉

専門校窓口のキャッシュレス

端末で支払い（右図の支払方法）

（クレジットカード、コード決済、  
デビットカード、電子マネー）

〈願書を電子申請で提出する場合〉

・クレジットカード、コード決済

電子申請システムの

「申込内容照会」画面から支払い

・ペイジー（対応金融機関のインターネットバンキング又はATMで支払い）

支払方法	決済ブランド
クレジットカード デビットカード	Visa      Mastercard   <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;">                         ※使用可能なブランドは左記のみとなります。                          あらかじめご了承ください。                          ※Jデビットはご利用になれません。                     </div>
電子マネー	nanaco, WAON, 楽天Edy   
交通系 電子マネー	Kitaca, Suica, PASMO, TOICA, manaca, ICOCA, SUGOCA, nimoca, はやかけん（※PiTaPaはご利用になれません。）         
コード決済 (スマートフォン)	PayPay, auPAY, 楽天Pay, d払い    

# Q&A

## 1 未経験ですが大丈夫ですか？

→ 普通科や文系経験者が80～90%です。各科の職業訓練指導員が丁寧に指導するので安心してください。

## 2 部活動はありますか？

→ 毎日16:15まで、授業のため部活動はありません。

## 3 アルバイトはできますか？

→ 禁止ではありません。

ただし、遅刻・欠席、授業中の居眠りなどで授業に支障が出る場合は、相談させていただくこともあります。

# Q&A

## 4 学食はありますか？

→ 学食はありません。

昼食を持参いただくか、日替わりの仕出し弁当を注文することが出来ます。(400円)

また、近隣飲食店で食べていただくことも可能です。

## 5 日本学生支援機構の奨学金は受けられますか？

→ 日本学生支援機構の奨学金を受けることはできません。

厚生労働省の技能者育成資金融資制度を利用できる場合があります。

# Q&A

## 6 定期試験はありますか？

→ 一年間を三期に分け、学期末ごとに期末試験を行います。

期末試験は、学科と実技それぞれ実施します。

授業單元ごとの小テストなども実施しています。

※御自分の知識や技能習得状況を確認していただき、

今後活かしていただくため実施しています。

## 7 自動車(バイク)通学はできますか？

→ 届け出により可能です。